

～みなさまの地域をより魅力的にするために、  
岩手県立大学が課題解決と一緒に取組めます～

# 平成26年度 岩手県立大学 地域政策研究センター 地域協働研究(地域提案型・後期)

## 地域が抱える課題を募集します!

岩手県立大学では、地域のシンクタンクの機能を担い、地域課題の解決に貢献するため、平成23年度に「地域政策研究センター」を設置しました。本センターでは、平成24年度から、自治体・NPO・企業などが抱える「地域課題」を研究課題として提案いただき、本学の研究予算により大学と共同で研究を実施することにより課題解決を目指す「地域協働研究(地域提案型)」を実施しております。

つきましては、以下により「地域課題」の募集を行いますので、多数応募いただきますようお願い致します。

【応募締切】  
7/31(木)



募集期間：平成26年7月1日(火)から平成26年7月31日(木)まで

募集課題：① 対象 募集する研究課題は次の全てに該当するものとします。

- ア) 県内の自治体やNPO・団体、企業が抱える「地域課題」とし、平成26年10月頃から研究に着手可能な課題とします。なお、民間企業についても、「地域課題」の解決に資する研究のみを対象とします。
- イ) 県立大学との研究を通じて得られた研究成果をいかし、ご提案いただいた方自らが、県内において課題解決に向けた具体的な取組みや活動を予定する研究課題とします。
- ウ) 特に分野などの制限はありませんが、県立大学の各学部(看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部、高等教育推進センター)、盛岡短期大学部(生活科学科、国際文化学科)及び宮古短期大学部(経営情報学科)の研究者が対応できる研究課題とします。

② 研究期間 平成26年10月～平成27年9月

③ 負担金 本学の研究に必要な費用は県立大学で負担します。(1件あたり500千円以内)

※ただし、共同研究に際し、提案者にかかる旅費等の費用は負担いただきます。

応募資格：岩手県内に所在する自治体やNPO・団体、企業とし、提案いただいた研究課題について共同で調査・研究が可能であり、得られた研究成果により主体的に課題解決の取組みを実行できる者とします。(原則、事業を営まない個人は除きます。)

※県内に拠点を有する企業や団体等で規模等の制限はありません。

応募方法：岩手県立大学地域政策研究センターのホームページより提案書様式をダウンロードし、下記連絡先に郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で申込み願います。

<ホームページ:<http://www.iwate-pu.ac.jp/contribution/26tiikikyoudoukenkyukouki.html>>

…問い合わせ・申込み先…

〒020-0611 岩手県滝沢市巢子152-89

公立大学法人岩手県立大学 地域連携室 / 担当：上野山

TEL 019-694-3330 / FAX 019-694-3331 / E-mail : uenoyama@ipu-office.iwate-pu.ac.jp

# 過去に採択された地域提案型・研究課題一覧

## ●平成24年度前期採択(研究期間：平成24年8月～平成25年3月)

No	研究課題名	研究代表者			課題提案者
		所属	職	氏名	
1	岩手沿岸における震災復興ビジネスの成果と限界 ～岩手県における人口の社会減対策の強化に向けた課題整理～	総合政策学部	准教授	栗田 但馬	岩手県政策地域部政策推進室
2	被災地における絶滅危惧植物ミズアオイとヒトトコブの再生	総合政策学部	教授	平塚 明	NPO法人ASIA Environmental Alliance(AEA)
3	岩手県災害派遣福祉チームについて	社会福祉学部	准教授	都築 光一	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会
4	復興支援活動における行政と民間の協働のあり方に関する研究	総合政策学部	准教授	西出 順郎	一般社団法人東日本絆コーディネーションセンター
5	被災地の復興まちづくりにおけるユニバーサルデザインの課題について	社会福祉学部	教授	狩野 徹	岩手県保健福祉部地域福祉課
6	防災行政無線に合音音を用いるための最適制御法に関する研究	ソフトウェア情報学部	教授	伊藤 憲三	滝沢村企画総務部企画総務課
7	福祉NPOの自主事業開発における戦略的課題について	社会福祉学部	教授	宮城 好郎	NPO法人いわてユニバーサルデザインセンター
8	子ども・子育て家庭支援に向けた地域連携に関する研究	社会福祉学部	准教授	山本 克彦	洋野町(福祉課)
9	電子カルテ導入前後での職員の業務量の比較と効果的な人材配置の検討	看護学部	教授	山内 一史	盛岡赤十字病院
10	岩手県における若年性認知症の本人と家族の支援について	社会福祉学部	准教授	藤野 好美	公益社団法人認知症の人と家族の会岩手県支部
11	失語症者における聴覚機能に関する研究	社会福祉学部	教授	米本 清	財団法人いわてリハビリテーションセンター
12	いわて三陸オリジナルのジオツーリズムプログラムの開発と実践	総合政策学部	准教授	伊藤 英之	いわて三陸ジオパーク推進協議会
13	歴史に学ぶ「女性と復興」～昭和三陸大津波と家族、共同体～	宮古短期大学部	教授	植田 真弘	岩手女性史を紡ぐ会
14	伝統芸能伝承のための『音』に関する研究—音の伝承方法について—	ソフトウェア情報学部	講師	松田 浩一	種市海鳴太鼓
15	中津川における小型淡水魚類の生息状況の把握と減少原因の解明	総合政策学部	講師	辻 盛生	NPO法人もりおか中津川の会
16	県央地域における「南部生パスタ」を題材とした地域振興に関する研究	総合政策学部	教授	吉野 英岐	岩手県商工労働観光部産業経済交流課
17	サポート拠点の効果的な整備及び運営について	社会福祉学部	教授	狩野 徹	大槌町民生部福祉課
18	人口構成の変化を考慮した地域政策形成に関する研究	総合政策学部	准教授	堀尾 義裕	岩手県政策地域部政策推進室
19	まちづくり・地域づくりにおける歴史文化遺産の活用～史跡を中心に～	総合政策学部	教授	倉原 宗孝	盛岡市教育委員会歴史文化課
20	盛岡市内におけるカラスの行動分析と可視化	ソフトウェア情報学部	講師	瀬川 典久	盛岡市環境企画課
21	コールセンターを核とした地域連携と地域振興	宮古短期大学部	准教授	岩田 智	洋野町特定政策推進室

## ●平成24年度後期採択(研究期間：平成24年11月～平成25年10月)

No	研究課題名 (研究計画策定後の課題名)	研究代表者			課題提案者
		所属	職	氏名	
1	被災地における交流事業への高齢者参加促進システムの有効性検証 ～予約・備忘通知機能を活用して～	社会福祉学部	教授	小川 晃子	株式会社びーぶる
2	東日本大震災津波における福祉避難所の状況と課題について	社会福祉学部	准教授	細田 重憲	岩手県保健福祉部地域福祉課
3	物語自動生成機能を持った博物館展示ナビゲーションシステム	ソフトウェア情報学部	教授	小方 孝	盛岡市教育委員会歴史文化課
4	岩手県の「森林公園」の管理に関する研究—絶滅危惧植物の公開と保全について—	総合政策学部	教授	平塚 明	小岩井農牧(株)(岩手県滝沢森林公園 指定管理者)
5	観光資源「室根山」を活用した地域活性化へのアプローチ	総合政策学部	教授	吉野 英岐	一関市室根支所産業経済課
6	再生可能エネルギーの導入促進による金ヶ崎町の内発的発展に向けた基礎調査	総合政策学部	講師	茅野 恒秀	金ヶ崎町総合政策課
7	滝沢村における木質バイオマスエネルギー(薪)の利用促進に関する研究	総合政策学部	教授	渋谷 晃太郎	NPO法人グリーンマイル
8	釜石におけるスポーツイベントに向けたラグビー-民話誌の作成	盛岡短期大学部	准教授	原 英子	釜石ソーシャルサービスRFC

## ●平成25年度前期採択(研究期間：平成25年8月～平成26年3月)

No.	研究課題名	研究代表者			課題提案者
		所属	職	氏名	
1	森・川・海の一体的な取組みによる久慈湾の水質改善に向けた原因分析	総合政策学部	講師	辻 盛生	岩手県東北広域振興局保健福祉環境部環境衛生課
2	民間介護事業者による地域密着型サービスのあり方に関する基礎研究	社会福祉学部	教授	宮城 好郎	第一商事株式会社 やちだもの家
3	電子カルテ導入前後の職員の業務量の比較と効果的な人員配置の検討(導入後)	看護学部	教授	山内 一史	盛岡赤十字病院
4	東日本大震災における3次元復興計画の普及化による復興支援 —3D復興計画モデルによる復興支援—	ソフトウェア情報学部	教授	土井 章男	いわてデジタルエンジニア育成センター
5	災害派遣福祉チーム設置に関する研究について	社会福祉学部	准教授	都築 光一	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会
6	盛岡の生活・空間資源(特に盛岡城跡周辺)の文化地層的な読解と活用法、 及びその実践活動を通じたまちづくりと参加・協働の意識・体制づくり	総合政策学部	教授	倉原 宗孝	文化地層研究会
7	伝統野菜等の活用による6次産業化の展開	総合政策学部	教授	吉野 英岐	岩手県東北広域振興局農政部
8	実効性のある議会改革について	総合政策学部	教授	齋藤 俊明	雫石町議会
9	農作物の成長過程と農作業観察支援システムのグリーン・ツーリズムへの応用	ソフトウェア情報学部	准教授	高木 正則	滝沢村役場経済産業部農林課
10	被災地の復興まちづくりにおけるユニバーサルデザインの実践について	社会福祉学部	教授	狩野 徹	岩手県保健福祉部地域福祉課
11	続・歴史に学ぶ「女性と復興」～昭和三陸大津波と家族、共同体～	宮古短期大学部	教授	植田 真弘	岩手女性史を紡ぐ会
12	みちのく民俗村のITを活用したユニバーサルデザインの検討	ソフトウェア情報学部	教授	阿部 昭博	特定非営利活動法人きたかみ観光ネクスト
13	若年性認知症本人の通所サービス利用の実態と課題について	社会福祉学部	准教授	藤野 好美	公益社団法人認知症の人と家族の会岩手県支部

## ●平成25年度後期採択(研究期間：平成25年10月～平成26年9月)

No.	研究課題名	研究代表者			課題提案者
		所属	職	氏名	
1	いわて花巻空港と台湾との国際定期便就航に向けた地域の国際化推進に関する研究	盛岡短期大学部	准教授	原英子	岩手県県土整備部空港課
2	総合的な福祉行政の展開と市民参加のあり方	社会福祉学部	准教授	田中尚	盛岡市保健福祉部地域福祉課
3	バリアフリーマップにかかるとデータベースの作成と使いやすいデザインに関する研究	社会福祉学部	教授	狩野徹	盛岡市保健福祉部障がい福祉課
4	災害時における観光客の安全避難についてのガイドラインに関する研究	総合政策学部	准教授	伊藤英之	有限会社宝来館
5	メンタルヘルスの観点からみた宮古・下閉伊地域金型産業における人事組織の課題	社会福祉学部	教授	青木慎一郎	宮古・下閉伊コネクター金型研究会
6	地域で創る子ども・子育てでビジョンの構築に関する研究	社会福祉学部	講師	櫻幸恵	非営利株式会社三陸復興まちづくり会社
7	龍泉洞や安家洞といった電波利用による 情報配信が出来ない場所での観光ガイドシステムの実現	ソフトウェア情報学部	准教授	蔡大維	株式会社ユー・アイ・コミュニケーションズ
8	高齢者生活支援型コミュニティづくり —川前地区における持続可能な取り組み方策の検討	社会福祉学部	教授	小川晃子	川前地区高齢者支援連絡会
9	近代ニュータウンの再生と魅力作りに向けた地域の事業を活かすための調査と実践 —松園地区(住居専用区域)における事業活動の方向性—	総合政策学部	教授	倉原宗孝	松園商工会